

遠隔授業による公務員受験指導の一考察

伊藤 圭一

I. はじめに

中教審初等中等教育分科会「新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会」の第9回会合が6月11日、WEB会議で開かれ、文科省は席上、新型コロナウイルスの感染リスクを踏まえ、学校教育における対面指導とオンライン授業の関係などの課題を整理した検討用資料を提示した。感染症が収束していない「Withコロナ」段階では、教師による対面指導とオンラインとの組み合わせによる新しい教育様式を実践する一方、将来、感染症が収束した「ポストコロナ」段階では、教師が対面指導と家庭や地域社会と連携したオンライン教育を使いこなし、ハイブリッド化したかたちで協働的な学びを展開する姿を描いた¹⁾。特に、高校では同時双方向型のオンライン授業について、単位数の算定要件など制度的な見直しを行い、対面指導と融合したハイブリッド型の授業を可能とする方向性を明確に打ち出した。このような状況と本学公務員講座は同じような道を歩んでいきつつある。今年度、公務員試験支援センターが主催する高校生向けの公務員試験対策講座は、コロナウイルス感染防止のためにオンラインによる遠隔授業を実施した。当初は、感染状況が落ち着いてから、対面授業で再開を考えていたのだが、本学（豊橋創造大学短期大学部）の遠隔授業のノウハウを用いれば遠隔授業は可能ではないかという意見をいただき、試行的な要素を含めて、あくまで高校の先生を通して参加するという形式で行ある。まず、各高校を訪問して、①公務員講座の資料を配布 ②申し込み ③申し込み生徒に参加方法を送付 ④参加の練習 ⑤講義当日を迎えるという流れである。オンラインによる遠隔授業を行うにあたり、生徒と直接つながってしまうことに高校教員が抵抗を感じないように「先生を通じて申し込む」とこととした。今にして思えば、そのような配慮は不要かもしれないが、2020年5月当時、こうした取り組みは初めてであり、資料のやり取りの際に生徒とメールでつながることになるために、そのような配慮が必要であった。参加者は昨年の倍を超えて50人を超えるほどになり、この地区の高校生公務員受験者のほとんどはこの講座に参加をしていると言っても過言でない状況にまでなった。6月になると本学でも対面授業との混合の状態になり、土曜日実施の模擬試験の対面授業や公務員講座（平日実施）の遠隔授業と対面授業の同時実施を行い取り巻く状況に対応していった。感染状況に応じて地域の生徒が困らないために対応してきた公務員講座も一区切りの時期を迎えて「Withコロナ」と「ポストコロナ」を考えることとした。

1) 中央教育審議会高谷浩樹「遠隔授業の推進について」2018年11月19日

II. 公務員講座の現状とコロナ禍への対応

2-1 公務員講座の現状

東三河各自治体やその他の各地方公共団体の採用担当の方々が、精力的に高校に職業説明に実施していることから、高校生を含め地域に貢献できる人材を育成すること、且つ、地域を離れず地域に貢献する人材を採用側が必要としていることは明らかである。また、高校側も学生らが公務員試験に再チャレンジの場所を地元を求めている。そのことは数字には表れてこないが、地元の人材が欲しいという人事の方の声をまとめると地域的な人材需要と必要性はあると考えられる。そもそも公務員試験は、高校よりも先の高等教育を必要としない「高校卒業程度」の採用試験が多く実施されているところから採用の側の人材需要は十分にあると考えられる。

また、公務員は高校生がなりたいた職業ランキングで総合2位、男子高校生においては1位、女子高校生においては8位である。男子高校生の公務員になりたいた意欲は高く、高校以上の高等教育を必要とせず早く採用されたいという受験者の需要が多く存在すると言える。加えて保護者が就いて欲しいと考える職業ランキングでは公務員が1位である。進路を考えるもう一方の柱である保護者からの需要も高く、受験者の親子ともに公務員になって働きたい需要も高い水準であることが言える。

そのため地域貢献を目的に本学のPRも兼ねた高校生に対して公務員講座を無料で実施している。フォローアップ講座、夏季講座等に加え、特定の高校へ出向いて知能分野のポイント解説を行っている。これらは年間72時間程度の実施になる。実績も難関と言われる公務員試験に対して成果を上げている。毎年、対象が高校生であるため、最終的な内定先の把握などをしにくく成果を集計することが難しい現状がある。加えて昨年より有料での実施を希望する高校も出てきたなどの変化がある。

2-2 コロナ禍の対応

先に紹介した通り高校経由の申し込みを原則として高校から教材を配布していただく形を取った。講義の組み立てについては、反転授業を取り入れることにした。まず、高校経由で手にした資料を解き進めてもらう、そして講座では、ポイントの整理と応用問題を解くという形で進めていくことにした。反転授業とは、2000年代にアメリカで登場した授業で、学校での学習と自宅での学習を反転させた学習スタイルが特徴である。従来の一般的な学習スタイルではまず学校の授業で基礎的な知識を習得し、その知識を用いて自宅学習（宿題）を行う。一方、反転授業ではまず自宅学習（予習）を行って基礎的な知識を吸収する。学校の授業は、自宅学習で得た知識を用いて応用問題を解くもしくは自宅学習で分からなかったところを質問する場になるというものである²⁾。反転授業は「わからなくなる」ことが「受験勉強の意欲をそぐ」つまり継続的な勉強を妨げる恐れがあるのでこれまでは取り入れてこなかった。今回はコロナ禍で公務員試験の受験勉強が進まず、かえって学習意欲が高まっているのではないかと考えた。この高い学習意欲を原動力にして反転授業を乗り越えていけるのではないかと推測した(図1)。そして反転授業を公務員講座のオンラインの公務員講座

2) 亀倉正彦『失敗事例から学ぶアクティブラーニング』東信堂2016年3月20日

に取り入れることで遠隔授業において必要な「見っ放し、聞きっ放しの授業に終わらせない工夫」だと判断した。初回と2回目のみ高校経由の教材で講義を実施し3回目以降はメールにて教材を送信（1週間前）⇒講義ではポイント整理と応用問題の実施⇒講義後、ビデオ会議室に残りマイクで質問という流れで実施した。質問はあまり出ないかと想像していたが、必ずマイクで質問があり受講生の学習意欲の向上を感じることができ、反転授業という形式がうまくいっている手ごたえを感じることができた。月に1度、土曜日に実施している模擬試験も5月はオンラインで実施、6月以降は規制の緩和に伴い対面で実施をすることになった。

Ⅲ. 効果

3-1 参加者数の増加が見られた。

普段の平日講座は参加者が5名程度なのであるが、今年は平日講座の参加が平均で30人前後と高い参加率を上げることができた。ひとえに遠隔授業の実施で参加できる生徒が増えたからと言える。参加スタイルも色々で、帰宅して自宅のパソコンからの参加、学校に残ってパソコン教室からの参加、下校の電車の中でイヤホンをしてスマートフォンでの参加など様々なスタイルが見られた。部活動が休止された時期でもあることからさらに参加が継続的にできたと推測できる。

3-2 遠方からの参加者が増加した。

今まで、対面授業の場合、下校後本学に16時30分までに到着できる生徒のみ参加できる状態であったが、16時30分に通信機器の前に居れば参加ができるようになったので遠方からの参加が見られた。学校から本学までの移動がネックであった蒲郡東高校、国府高校、豊橋西高校、豊橋工業高校からの参加が増え継続的に参加することができた。これまでは、こうした高校の生徒たちは、土曜日講座や長期休暇期間の講座に参加をしていたが、毎週の継続的な参加ができるようになった。

エリアも湖西地区、名古屋地区など幅広いエリアからの参加が見られるようになった。

3-3 参加者が増えると合格実績も増える

公務員試験は難関と言われており、非常に広い範囲から問題が出題されている。

何問正解したかなどの割合で成功したのか失敗したのかを調べる方法がない。地方公務員試験にせよ、国家公務員試験にせよ、合格点数も明らかになっていない。また、ある程度年度や自治体の事情などで変化している。合格は6～7割程度の正答率がないと公務員試験突破は難しいと言われる。人数などの競争倍率にもよるが、やはり目安となるのは6～7割程度の正解である。この合格ラインを超えるのは必須と言え、万全を期すならこれ以上の正解率を目指す必要がある。これは教養問題、専門問題を問わない基準であり、試験の数カ月前にはこの基準に達していることが望ましい。一方、公務員試験で最も難しいのは、日常生活の中で勉強を継続することである。極端なことを言えば、適切な勉強方法で、継続して勉強を続けることさえできれば公務員試験の筆記試験（一次試験）は必ず合格できるのである。

これまで、この講座により、たくさんの受験生が公務員試験に合格し、そして今では公務

員として国民のため、あるいは県民のため、あるいは市民のためにがんばって仕事をしている。これらの公務員講座受験生は、特に特別な勉強方法により合格を勝ち取ったわけではない。合格するための考え方にに基づき、合格するための勉強方法を、コツコツと継続した結果である。誰一人として難しい勉強方法を採用した人はいない、そのようなフクザツな勉強方法など公務員試験に合格するためには必要がない。

3-4 公務員試験の特徴紹介

公務員試験の理解を深めるために特徴を紹介する。

3-4-1 学力をみる分野

これがいわゆる一次試験のコアな部分になる。一般教養や専門科目などで学力を確認する。一般教養のみの場合もあれば、専門科目だけの場合もあり、両方の場合もある。基本的に、全ての公務員試験で学力は試されている。

3-4-2 適正をみる分野

俗に言う適正試験である。就職試験では定番の試験であるが、公務員の場合、受験者の性格的なものを判断する適正試験もあれば、作業の処理能力を判断する適正試験などもある。また、全ての公務員試験で行われるわけではなく、ない場合もあるため、実施の有無など情報が必要になる分野でもある。

3-4-3 論理、思考、考え方をみるも分野

一般的には、小論文や作文が該当する。上級試験では小論文で論理を、初級試験では作文で考え方をみる。中には記述式といって、より短文で書かせるものが一次試験に含まれる場合もある。また、一次試験ではなく、二次試験で実施される場合も多い。ちなみに、論作文の実際がないところもたくさんあるため情報が必要であるということと、採点者は国語のプロではないので国語的な評価はあまり重要ではない。公務員試験の論作文でチェックされるポイントを知っておく必要があるため、やはり情報が必要である。

以上のように、筆記試験だけでも相当なボリュームがある。これらを全てこなさないと公務員試験に合格できない可能性もあり、その点で勉強が継続できない（やる気を失う）場合が多い。

3-5 多い参加者が支えあうことで合格実績につながった

参加者が多いほど、ライバル心が芽生えたり、協力したりする結果、勉強を継続することができる力につながっていくのである。そのためにも参加者は多いほうが成果を上げられる講座になるのである。今回はコロナ禍の遠隔授業ということで参加者が増え、結果、よい公務員講座につながった。

中でも豊橋市の採用試験においては、高校生唯一の事務職内定者が本講座の受講生であった。加えて消防職も高校生の1次合格者全員が本講座の受講生であることがわかった。他の公務員試験でもほぼ全員が1次試験を通過しており、遠隔授業による受講者増が受講者の合格にとつながる形になった。

IV. 対面授業の効果

オンラインによる遠隔授業のみの時期を経て対面授業に戻ると教員も受講生の参加姿勢も例年とは違うものになってくる。

4-1 教員側

対面授業の場合は、教員の目の前に受講生が座っている。そして、受講生のあらゆる情報をキャッチして指導の方法を微妙に変えている。生徒が積極的にフィードバックを行わなくても、鉛筆の動きや表情、姿勢などから、生徒がどんなことを考えているか、どこで悩んでいるかを察知することができる。遠隔授業ではカメラやマイクから入る情報しか使うことができない。そのため、生徒の考えやつまづいているポイントを発見するために、対面再開後はオンラインでの範囲を復習して特に受講生の反応や手元に気を付けた。また、オンラインで直接生徒を見られないことにより教員自身がいかにこれまで受講生に気を配り手元を見てきたか、受講生の反応で講義内容を変えてきていたかを実感できた。再開後はより丁寧に受講生に寄り添う授業を心がけた。

4-2 受講生側

遠隔授業の欠点は、コミュニケーションの減少、思考力の低下、アクティブラーニングが難しいこと以上、3つが挙げられている。3つに共通するのは、周りとは相談する、周りに質問するという行為であると考えられる。ソーシャルディスタンスを保ちながら周囲と相談しながら学習を進めていくことは難しい。ただ、同じ教室にいても大きな影響を与え合う事例が見られた。それは、自分以外の受講生の得点を意識するということである。受講生は高校生であり対面授業の場合は制服で参加している。ミニテストや模擬試験を行った場合に、自分の得点を参加している友人と言い合うことがまず刺激になるが、会話に参加してなくても、その会話が耳に入る受講生にも大きく影響を与えている。次は豊橋市役所事務職に内定した人物の証言である。「〇〇高校の生徒が××点を取っていて私よりも5点上だったことにショックを受けた」というものである。確かに得点を言い合っていた生徒の通う学校よりも進学校の生徒であった。失礼だなと思いつつも、言い合っていた受講生たちがどのように受験について準備をしてきたかを説明した。公務員試験は進学校だから合格できるというものではないことを理解してもらえた。他人から影響を受けること、そして自分が改善していかなければいけないことを気づくこと、これは対面授業でないと得られない効果だと考えられる。この努力が本年度豊橋市役所事務職での唯一の現役高校生の採用内定につながったと言える。遠隔授業は、個人が伸びていくことはできるがお互いに影響を与えることは難しい。お互いに影響を受け、自分を改善したからこそ難関を突破できたと考えられる事例である。

4-3 お互いを補い合う

オンライン授業の良いところ

⇒知識を身に付けることができる

対面授業の良いところ

⇒お互いを意識して成長することができる

ところがそれぞれの利点である。

この先、コロナ禍がどのような状況になろうともオンラインを用いた遠隔授業は継続されていくであろう。遠隔授業の良いところを知り、遠隔授業を活用しつつ対面授業につなげて

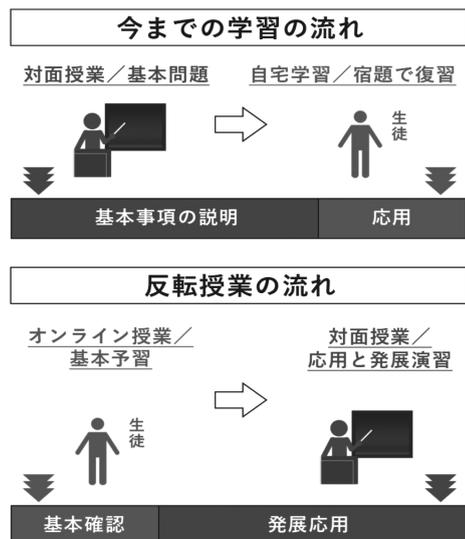
いくことが重要であると思われる。その際には、ラーニング・ピラミッド（図2）を意識して、アクティブラーニングを取り入れていくことが必要となる。今回の場合、遠隔授業でスタートした公務員講座は、ラーニング・ピラミッドのアクティブラーニングの部分、一部再開できた対面授業で補うことができた。偶然の出来事であり、これからに向かって、このラーニング・ピラミッドを意識した講座の組み立てを行っていきたい。

V. これから

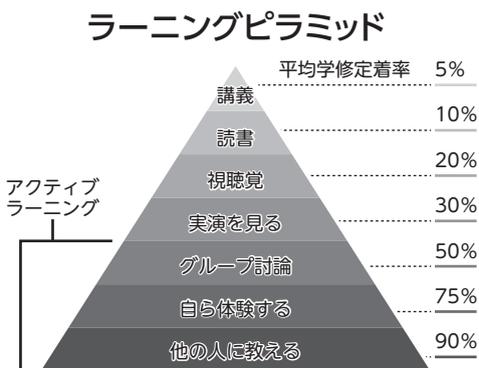
次年度より、会員制による高校生の進路把握、オンライン化により遠方の高校生の参加機会確保を行い、参加者の合格の成果をPRすることになった。つまり広い地域に向けて信頼ある広報活動につなげるために、講座のオンライン化並びに有料化を行うことになったのである。正式なオンライン化で静岡県下の生徒の参加も期待できる。これまで、また、高校生であるため、最終的な内定先の把握などをしにくく成果を集計することが難しい現状を解決する手段にもなる。すなわち公務員講座所属の受講生と考えることで受講生の管理という範囲内でいろいろな取り組みができるからである。実際のところ昨年より一部の高校は有料で参加している。有料と無料が混在するという状況も解決できる。

「Withコロナ」から「ポストコロナ」の時代を見据えて、遠隔授業と対面授業の良いところを生かしながら公務員試験対策講座をハイブリットで運営していくことは、受講生のより良い成果をもたらすとともに地域にとっても、地元の若者が地域に貢献できる機会を提供することにつながる。この公務員講座がますます地域に貢献できる講座として成長していくことにつながると考えている。

反転学習を基本として学習を行い、ラーニング・ピラミッドのグループ討論程度までオンラインによる講義を行うことでアクティブラーニングの要素をできるだけ取り入れて、受講生が対面講義に参加をした際にはお互いが刺激しあえるように講義の内容を組み立てていきたいと考えている。



(図2)



出典: The Learning Pyramid. アメリカ National Training Laboratories

2021年度 高校生向け公務員講座について

現状分析

地域貢献と本学のPRのため高校生に対して公務員講座を無料で実施している。フォローアップ講座、夏季講座等に加え、特定の高校へ出向いて知能分野のポイント解説を行っている。しかし、対象が高校生であるため、最終的な内定先の把握などをしにくく成果を集計することが難しい現状である。加えて昨年より有料での実施を希望する高校も出てきた。このため講座料も従来の無料と有料に統一されていないといった課題がある。

目的

- ・ 会員制による高校生の進路把握 ・ 遠方の高校生の参加機会確保
- ・ 進路把握による成果をPRしより広い地域に向けて信頼ある活動を広報につなげる

企画の概要

- ① 高校生向けの講座を会費制とし、会費を払った高校生のみが講座を受講可能とする。
- ② Zoom を利用し、遠方の高校生も受講できるようにする。
- ③ 具体的な成果を公表して、公務員講座の効果をアピールする。

講座概要（スケジュールと内容は添付参照）

- ・ 冬季講習会…3.0h×2日=6.0h
- ・ 春季講習会…3.0h×2日=6.0h
- ・ フォローアップ 平日…1.5h×10日=15.0h
土曜…5.0h×4日=20.0h
- ・ 夏季講座 講習会第1期…3.0h×4日=12.0h
講習会第2期…5.0h×2日=10.0h
直前対策講座…1.5h×2日=3.0h

すべて受講すると
合計 **72時間**

具体的な施策

- ① 高校生向け講座の会費を5,000円とし、会費を支払った高校生のみが受講可能とする。
- ② Zoom ビデオウェビナーの100名まで同時受講可能なプランを契約。（年間53,800円）
- ③ 何人受講し、何人公務員試験に挑戦して、結果はどうであったか、公務員として就職したのは何人かなど具体的な成果を公表する。

収支（高校生50名受講を想定）

【収入】

- ・ 会費5,000円/人×50名=250,000円

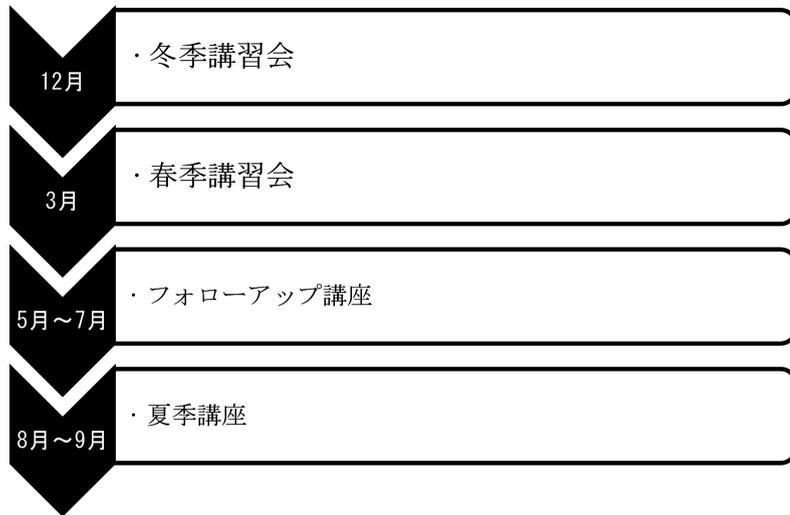
【支出】

- ・ Zoom チームプロライセンス ¥20,100/年
- ・ Zoom ビデオウェビナー ¥53,800/年

得られる効果

- ① 会費制にすることで、高校間の公平性を担保。また、需要がどの程度あるのか把握できる。
- ② Zoom を利用することで、静岡県西部の高校等へ広く開講案内ができ、本学の公務員試験対策のアピールができる。
- ③ 成果を公表することで高大間の信頼性が増す。

◆2021 年度高校生向け公務員講座のスケジュール ※添付参照



①冬季講習会

12/23 人事の方からお話を聞こう

12/24 試験対策のポイント（これからスタートのために）

②春季講習会

3/24 知能分野のポイント

3/25 知能分野のポイント（これからスタートのために）

③フォローアップ講座

平日：5/14～7/15 の毎週木曜日 16：30～18：00

土曜日：4/24、5/22、6/12、7/17 模擬試験

④夏季講習会

1 期（教養試験の各分野のポイント）：8/3～8/6 9：30～12：30

2 期（模擬問題の演習と解説）：8/18・8/19 9：30～15：30

夏季講座：9/9、9/16 16：30～18：00

高校生向け公務員講座（日程は2021年度～2022年度案）

◆フォローアップ講座

【平日講座】木曜日の16時30分から18時 重要ポイントを押さえます。

日 程	内 容	
5月13日（木）	課題推理 論理と集合	社会科学 民主主義の成立
5月20日（木）	課題推理 暗号解読	社会科学 日本国憲法
5月27日（木）	課題推理 対応関係	社会科学 基本的人権の尊重
6月3日（木）	課題推理 順序関係	社会科学 日本の政治機構 1
6月10日（木）	課題推理 試合と勝敗	社会科学 日本の政治機構 2
6月17日（木）	課題推理 方位位置	社会科学 現代社会の諸問題
6月24日（木）	課題推理 手順や数量関係	社会科学 国際政治の現状と課題
7月1日（木）	課題推理 一筆書き 道順	社会科学 経済社会の仕組み
7月8日（木）	課題推理 平面図形の数 模様	社会科学 国民政治の現状と課題
7月15日（木）	課題推理 軌跡	社会科学 日本経済の現状

【土曜日講座】9時30分から15時30分 模擬試験を行います。

日 程	内 容	
4月24日（土）	模擬試験	解説会
5月22日（土）	模擬試験	解説会
6月12日（土）	模擬試験	解説会
7月17日（土）	直前対策	直前対策

◆夏季講座 どの講習会から学習を開始しても大丈夫です。

【夏季講習会・第1期】9時30分から12時30分

日 程	内 容	
8月3日（火）	課題処理のポイント	
8月4日（水）	社会科学のポイント	
8月5日（木）	数的処理のポイント	
8月6日（金）	資料解釈・時事問題のポイント	

【夏季講習会・第2期】9時30分から15時30分

日 程	内 容	
8月18日（水）	模擬問題の演習と解説	
8月19日（木）	模擬問題の演習と解説	

【直前対策講座】 16時30分から18時

日 程	内 容
9月9日(木)	直前対策講座
9月16日(木)	直前対策講座

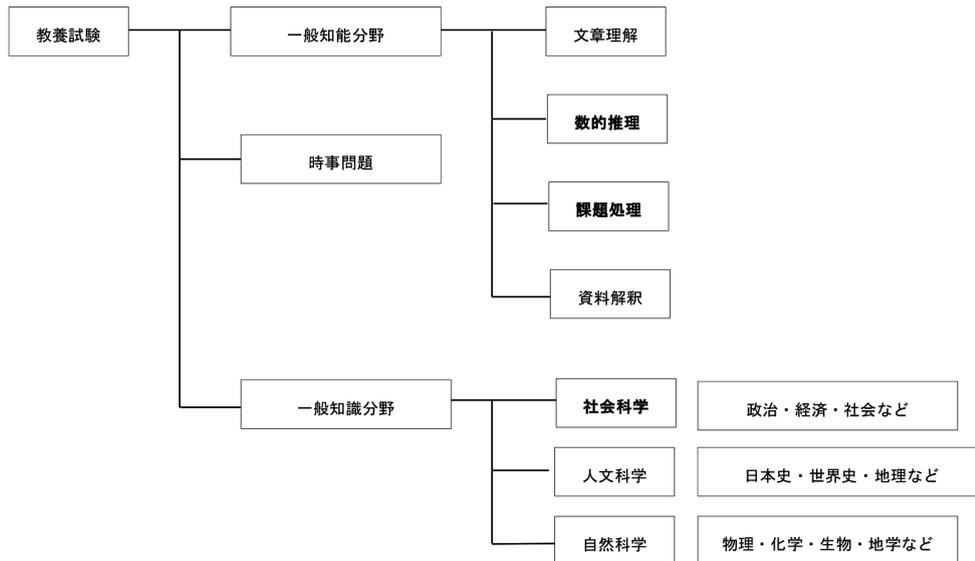
◆冬季講習会 9時30分から12時30分

日 程	内 容
12月23日(木)	人事の方からお話を聞こう
12月24日(金)	試験対策のポイント(これからスタートのために)

◆春季講習会 9時30分から12時30分

日 程	内 容
3月24日(木)	知能分野のポイント
3月25日(金)	知識分野のポイント(これからスタートのために)

重要なのは「社会科学」「課題処理」



冬季講習会→春季講習会→フォローアップ講座→夏季講習会→直前対策講座

(豊橋市は7月受験)

(9月の高卒程度試験受験)

◆桜丘高校 豊川高校 など学校単位の 有料講座 【秋学期実施】

日 程	内 容
第 1 回	公務員試験ガイダンス
第 2 回	社会科学 政治分野
第 3 回	社会科学 経済分野
第 4 回	課題処理 論理命題 対応関係
第 5 回	課題処理 試合と勝敗 方位位置
第 6 回	数的処理 計算問題の代表例